

シリーズ 神栖市の施策

今回から毎月、市で取り組んでいる施策を分野別に紹介します。

問 子育て支援課 ☎0299-90-1206
こ福 こども福祉課 ☎0299-90-1205
国保 国保年金課 ☎0299-90-1143
教総 教育総務課 ☎0299-77-7212

給食 第一学校給食共同調理場 ☎0299-92-2030
住政 住宅政策課 ☎0299-95-6595
健増 健康増進課 ☎0299-90-1331

vol.1

子育て支援



市では、2018年に策定した「第2次神栖市総合計画」に重点プロジェクト「子育て日本一プロジェクト」を掲げ、「結婚・出産・子育てしやすい環境づくり」を強力に推進しています。

子育て世代包括支援センターの運営 子育 (2019年6月開設)

保健師や子育てコンシェルジュが、妊娠・出産・子育てに関して相談・支援を行ないます。

場所=子育て支援課内少子化対策室(保健・福祉会館別館2階)

◆子育てコンシェルジュ相談

相談内容に応じて、ご家庭にあった子育てサービスを紹介します。

受付日時=月～金曜日(祝日、年末年始を除く)

午前8時30分～午後5時15分

☎0299-77-9288



(仮称)土合地域交流・保健福祉センター内にも開設予定です。(2023年4月開館予定)

子ども家庭総合支援拠点の運営 こ福 (2020年4月開設)

近年増加している児童相談や虐待などに対応するため、「家庭児童相談室」の機能を拡充し、子ども支援の専門性を持った機関として、地域の子どもや妊産婦の福祉に関する支援業務を行ないます。

場所=こども福祉課内家庭児童相談室(保健・福祉会館別館2階)

◆「子どもを虐待から守る条例」を制定 (2020年3月)

すべての市民が一体となって、地域の力で子どもと家庭を支える環境づくりを推進するために制定しました。市では、相談体制の強化を図り、虐待の防止や早期発見に努めています。

児童館や認定こども園・保育所施設を充実 子育 こ福

●うずも児童館の新築 (2022年7月開館予定)

暫定的に旧海浜保育所を利用しているうずも児童館を知手中央地区に移転・新築し、地域の子育て支援体制の充実を図ります。

●大野原保育所建て替え (2020年7月開園)

●土合こども園の整備 (2019年開園)

●波崎こども園の整備 (2018年開園)



公立幼稚園の配膳室などを整備 教総 2022年度から給食提供開始

公立幼稚園の魅力高めるとともに、保護者の負担軽減を目的として、公立幼稚園4園に給食を提供するための配膳室などを整備します。



学校給食費の保護者負担無償化 給食 2020年度・2021年度

コロナ禍における保護者の経済的負担を軽減するため、2020年度に続き、2021年度も児童・生徒の給食費保護者負担金を無償にします。

子育て家庭を応援 市独自の事業の一部を紹介します。

子育て応援ギフトカタログ 子育

妊娠32週以降の妊婦や誕生後6カ月までのお子さんの保護者を対象に、育児などの補助となるもの(15,000円相当)を選べるカタログを贈呈。(2019年度～)



高校生までの医療費を助成 国保

中学生・高校生(相当を含む)の外来受診費や、所得制限により県の制度(マル福)の該当にならない小児の医療費を助成します。

1か月児一般健康診査費用助成 健増

費用の一部を助成します。上限5,605円。(2019年度～)

子育て応援券 子育

次年度就学予定のお子さんの保護者を対象に、小学校入学に役立つ商品などを扱う市内協賛店で使用できるギフト券(3万円相当)を贈呈。(2019年度～)



新生児聴覚検査費用助成 健増

費用の一部を助成します。上限3,000円。(2019年度～)

インフルエンザ予防接種費用助成 健増

- 1歳～小学6年生の助成を期間内2回までに拡充
- 接種1回につき上限2,000円 (2019年度～)

かみす子育て住まい給付金 住政

子育て世帯などの、住宅取得による移住定住を促進するため、住宅取得費を最大100万円に拡充し、助成します(住宅取得から2年以内)。(2020年度～)

出産者などへ手当を支給 国保

出産分娩者に対し、出産育児一時金(約40万円)に加え、子ども1人につき2万円の手当金を支給します。